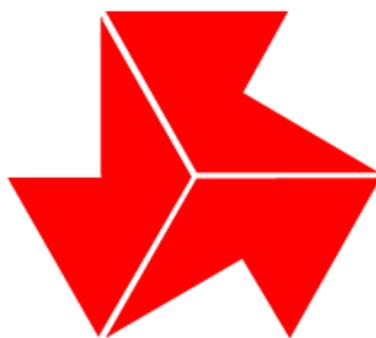


平成27年度全九州高等学校体育大会
第43回全九州高等学校ヨット競技大会
兼全国高等学校総合体育大会ヨット競技九州地区予選会

実 施 要 項



2015

主 催	九州高等学校体育連盟 佐賀県教育委員会
後 援	公益財団法人佐賀県体育協会 唐津市教育委員会 九州ヨット協会
主 管	佐賀県高等学校体育連盟 佐賀県ヨット連盟

(6) 諸会議

会議名	日 時	会 場
監督・主将会議	6月11日(木) 16:30～	佐賀県ヨットハーバー
各県専門委員長会	6月11日(木) 19:00～	佐賀県ヨットハーバー

2. 競技規則・方法

(1) 競技規則

- ① 本大会は、2013～2016年国際セーリング競技規則(以下「規則」という)に定義された「規則」を適用する。
- ② 国際FJ級規則については2004年改定版を適用する。ただし、クラス規則C. 5. 1(b) (1)については、以下を適用する(2007. 7. 1改定公示)。
 - ・ 電子的計時装置と電子的コンパスは許される。ただし、データを相互に関連づけるどのような機能も持ってはならない。
- ③ 国際420級規則については2014年改訂版を適用する。
- ④ シーホッパー級SRについては2009年4月版を適用する。シーホッパー級SRクラス規則は日本シーホッパー協会公式HPで取得できる。
- ⑤ 規則42違反に対し、付則Pを適用する。但し、規則P1の「セール番号」を「識別番号又はセール番号」に置き換える。
- ⑥ 艇は自らの安全のために、マストトップに浮力体を付ける事が出来る。これは国際420級クラス規則C5を変更している。

(2) 競技方法

- ① レースは男女・種目別(状況によっては男女同時スタートもありうる)に各7レースを行う。ただし、各種目でレースが1回以上成立すれば当該種目は成立する。また、学校対抗が成立するためには、FJ級と420級およびシーホッパー級SRが1レース以上完了しなければならない。
- ② 順位は各種目別に決定する。各種目とも男子女子の順位については、たとえ男女が同時にスタートしても、先頭艇フィニッシュ時刻、フィニッシュ順位、レース終了時刻も全て男女別に記録される。
- ③ FJ級及び420級は1艇4名以内、シーホッパー級SRは1艇2名以内の選手登録で1チームを構成する。チーム内での各レースごとのスキッパー、クルーの分担は任意である。なお、選手登録の変更は原則として認めない。
- ④ 得点は、成立したレースが4回以下の場合、全てのレース得点の合計とする。5レース以上完了した場合は、その艇の最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- ⑤ 学校対抗は、種目にエントリーした全ての学校を対象とする。
- ⑥ 学校対抗は、FJ級(2艇参加している学校の場合は、最上位艇の得点)の得点と420級の得点とシーホッパー級SR(2艇以上参加している学校の場合は、最上位艇の得点)の得点の合計で競う。得点の少ない学校を上位とする。ただし、全ての種目にエントリーしない場合は、エントリーしていないその種目にDNCの得点を与え、その種目に参加したものとみなし、合計得点を算出する。
- ⑦ 本大会のプロテスト委員会は、規則91(a)による。規則70.5(a)に規定されたとおり、プロテスト委員会の判決を最終とする。

- ⑧ 使用する艇は自艇あるいは各学校の責任においてチャーターした艇とし、F Jにおいては日本FJ協会の公認標準艇でなければならない。
- ⑨ 使用するセール番号は参加申込時に登録し、それ以降の変更は認めない。同一セール番号を複数の艇に使用することはできない。
- ⑩ 予備セールの計測は、登録セールの破損時等、必要に応じて行う。予備セールの番号も原則として登録した番号と同一でなくてはならない。
- ⑪ 各艇のセールには主催団体が割り振った識別番号シールを貼り付けなければならない。なお識別番号シール代として、1艇につき**2,000円**を受付時に納入する。
- ⑫ 帆走指示書は受付時に配布される。

3. 引率・監督について

- (1) 出場校は必ず引率責任者が付き添わねばならない。引率責任者は監督を兼ねることができ、選手のすべての行動に対して責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、校長が認める当該校の職員とする。
- (3) 監督は各チーム1名とし、大会中の変更は認めない。
- (4) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部の者である場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

4. 参加資格

- (1) 参加者は、各県高等学校体育連盟に加入している生徒で、各県大会の実施要項により、九州大会の参加資格を得た者に限る。
- (2) 参加者は、平成27年度(財)日本セーリング連盟会員登録を完了した者であること。
- (3) 参加者の年齢は、平成8年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、同一競技3回まで、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。外国人留学生もこれに準ずる。ただし、一家転住等やむをえない場合、所属高等学校体育連盟会長の許可があれば、その限りではない。
- (5) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 出場する選手は、予め健康診断を受け、在学する学校長および所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例による学校の参加については、全九州高等学校体育大会開催基準要項のとおりとする。

5. 参加制限

- (1) 各県、男女ともFJ級4艇、420級2艇、シーホッパー級SR6艇とする。
- (2) 同一校のエントリー艇数はFJ級2艇以内、420級1艇、シーホッパー級SR3艇以内とする。
- (3) 艇ごとの選手登録を行い、複数の艇に同一選手を登録することはできない。
- (4) 引率・監督が付き添わないチームは出場を認めない。

6. 参加申込

- (1) 申込締切日 平成 27 年 6 月 2 日(火)必着
- (2) 申込先
 - ① 〒847-0832 唐津市石志中ノ尾3072 佐賀県立唐津工業高等学校 中嶋 孝一 宛
TEL 0955-78-1155 FAX 0955-70-3021
 - ② メールアドレス kaneko-masafumi@mail.saga-ed.jp (唐津西高校 金子征史)
- (3) 申込方法 上記①の申込先への参加申込書の郵送と②のemailアドレスへの参加申込書のデータ送信。

- ① 各種目の参加申込書フォームをダウンロード
- ② 申込データダウンロード先； 九州高等学校体育連盟ホームページ
<http://kyusyu-koutairen.jp/index.com>
- ③ ダウンロードした各種目の参加申込書ファイルにより参加申込書を3部作成し、各県高等学校体育連盟競技専門部でとりまとめ押印の上、1部は所属高等学校体育連盟控えとし、2部を(2)①の申込先へ送付すること。
- ④ さらに同ファイルに入力した各種目の参加申込書(押印不要)を添付ファイルとして上記(2)②のアドレスに送信すること。

※個人情報の取扱いについて

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

7. 参加負担金

- ① FJ級420級共に1艇につき **18,000円**、シーホッパー級SRは1艇につき **10,000円** とする。
- ② 参加申込と同時に各県高等学校体育連盟競技専門部でとりまとめ、下記口座に払い込むこと。ただし、振込手数料については参加校の負担とする。

【振込先】	佐賀銀行	和多田支店
	口座番号	(普) 3020744
	名義人	佐賀県高体連ヨット専門部委員長中嶋孝一 (ナシマコウイチ)

※「佐賀県高体連ヨット専門部」の指定口座です。

- ## 8. 表彰
- 男女種目別：1位～3位を表彰する
学校 対抗：1位～3位を表彰する

9. 出場権の獲得

FJ級、420級のみそれぞれ男子：7艇、女子：4艇が全国大会へのお出場権を得る。
ただし、同一校のお出場権は、それぞれ1艇までとする。

10. 計測

- (1) 艇、及び搭載備品の計測は、各クラス規則にのっとり行う。
- (2) F J級のセールのお計測には、オフィシャルメジャラーのサインが必要である。
- (3) 計測料は1艇(セールを含む)につき**2,000円**とする。但し、F J級のサインが無いセールの計測については、別途**1,000円**を要す。
- (4) 計測の際、各艇のセールには主管団体で割り振った識別番号シールを貼り付けなければならない。(シール代**2,000円/艇**)
- (5) バウラインはクラス規則通りとする。

11. レース・エリア及びレース・コース

レース・エリア及びレース・コースを添付図Aに示す。

その他の連絡

1 宿泊申込み

- (1) 所定の宿泊申込書に必要事項を記入の上、1部を参加申込書に同封して送付すること。
- (2) 宿泊費は1人あたり1泊2食**8,000円**(税・サービス料込)を上限とする。
- (3) 配宿は大会事務局で決定し、各校にFAXまたは封書で通知する。
- (4) 昼食のお弁当は1食あたり**600円**(税込)とし、参加申込時に学校単位で申し込むこと。

2 参加上の注意

- (1) 選手は当該校の職員が引率すること。万一の事故に備えて傷害保険への加入等万全の事故対策をしておくこと。
- (2) 参加者は健康診断を受け「健康保険証」を持参すること。
- (3) 競技中の疾病傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
- (4) ライフジャケットは十分浮力のあるものを着用すること。必要備品は各チームで準備。
- (5) 支援艇の持ち込みを希望する学校は、事前に大会事務局に連絡すること。また、大会受付時に配布される帆走指示書に従わなければならない。

3 その他

- (1) 施設使用料(水道料・艇置料込み) **810円/1日/1艇**を受付時に大会本部に納めること。
- (2) 艇の搬入・搬出に関しては、大会事務局へ申込締切日までに連絡すること。

添付図A

レース・エリア



レース・コース

